

令和6年竹田市教育委員会第2回定例会 会議録

- 1 開催日時 令和6年2月5日（月）午後3時から
- 2 開催場所 竹田市役所2階庁議室
- 3 出席委員 教育長 志賀 哲哉
2番委員（教育長職務代理者） 吉野 聖子
3番委員 岡 茂樹
4番委員 甲高 幸一
- 4 欠席委員 1番委員 佐藤 恵
- 5 本定例会に説明のため出席した者の職・氏名
教育総務課長 野仲 芳尊
学校教育課長 渡邊 幸美
生涯学習課長 佐藤 俊郎
まちづくり文化財課長 古田 卓
竹田中央学校給食共同調理場長 甲斐 正寿
歴史文化館長 佐藤 晃洋
事務局員 教育総務課課長補佐 羽田野京子
- 6 議事日程 (1) 会議録の承認 第1回定例会会議録
(2) 教育長報告
(3) 審議事項
議題第3号 令和5年度竹田市教育費予算（3月補正）要求書について
議題第4号 竹田市教育委員会委員の辞職の同意について
(4) 報告事項
(5) 審査事項
(6) 協議事項
・令和5年度小中学校卒業式・幼稚園卒園式及び令和6年度小中学校入学式・幼稚園入園式について
(7) 連絡事項
(1) 2月幼・小・中行事予定表
(2) 2月教育委員会関係日程（予定）表
(3) 今後の主な予定
(8) その他 各課から
(9) 教育委員からの提案・意見
- 7 議事次第 別紙のとおり

[開会時刻：午後3時05分]

- 野仲教育総務課長 委員の出席状況でございます。教育長及び委員3名出席、欠席1名、傍聴者はいらっしゃいません。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定に基づき、本委員会が成立していることを報告いたします。
- 志賀教育長 それでは、ただいまから令和6年第2回定例会を開会します。第1回定例会の会議録は、すでにお配りしていますが、質疑、修正等はありませんか。
- 委員 (「はい。」の声)
- 志賀教育長 それでは会議録を承認願えますか。では、会議録に署名をお願いします。
- (署名)
- 志賀教育長 次に、教育長報告をお願いします。教育総務課長。
- 野仲教育総務課長 それでは前回の教育委員会第1回定例会以降の報告をさせていただきます。1月12日、部落解放同盟大分県連2024 荆冠旗びらき。13日、外国語教育域学連携事業 KIDS ENGLISH。15日、竹田市歴史的風致維持向上協議会。16日、第2回労働安全衛生委員会。19日、歴史文化館協議会、及び竹田教育振興協議会運営委員会。20日、第46回河合尚武旗竹田職域クラブ駅伝競走大会。22日、全九州地域選抜中学校ソフトテニス大会出場報告。25日、久住高原農業高校学習成果発表会、及び第7回英語授業力向上研修会。26日、定例課長会議、及び第37回全国都道府県対抗中学バレーボール大会結果報告会。28日、文化財防火デーに伴う火災防御訓練。29日、学校給食運営審議会、及び教頭会議。31日、部活動の在り方検討委員会、及び直入地域意見交換会。2月1日、教育長協議会意見交換会・情報交換会。2日、竹田教育振興協議会評議員会。3日、未来創造プロジェクト直入中発表。そして本日5日、教育委員会第2回定例会。以上です。
- 志賀教育長 教育長報告に対する質疑等ありませんか。
甲高委員。
- 甲高委員 はい。1月31日に行われております、部活動の在り方検討委員会について何かいろいろな意見が出ておりましたら、お聞かせ願いたいと思います。
- 志賀教育長 学校教育課長。
- 渡邊学校教育課長 はい。部活動の在り方検討委員会ですが、今年度の進捗状況と、来年度の地域移行の予定について提案させていただきました。部活動の在り方検討委員会には各中学校の校長と中体連の理事の方がお見えになっています。その中で、小学校の教員も含めて、全竹田市の教職員に、この経過と来年度に向けての方向・方針を説明する場を設けてくれということで、今計画中です。お伝えした後また先生方の意見を聞きながら、それぞれのスポーツ団体と協議をし、進めていくように報告いたしました。
- 志賀教育長 よろしいでしょうか。他にありませんか。

	甲高委員。
甲高委員	はい。同じ日になるんですが直入地域、後で多分、課長の方から報告もあるかと思いますが、直入地域の意見交換会についてお願いしたいと思います。
志賀教育長	教育総務課長。
野仲教育総務課長	<p>1月31日に直入地域で開催しました直入中統合にかかる意見交換会について報告いたします。当日は、43名の地域の皆さん方がお集まりくださいました。吉野委員もご出席くださっておりました。ありがとうございました。</p> <p>いただいたご意見を幾つかご紹介しますと、「何としても学校存続をお願いしたい」、「人口増につながるような地域の活性化を図ってほしい」、「小規模校の教員体制を整えるよう、国に働き掛けをしてほしい」、「スクールバスでの長時間の通学は子ども達にとって負担であり、また地域との関わりが薄れる」、「統合後の跡地活用も並行して提起すべきである」、また「現在の低迷する出生数に鑑み、市全体で一気に一つの学校にまとめるような、そういった方針に見直すべきである」など、そのほか多くの、貴重なお声を聞くことができました。それぞれのご意見に対しましては、当日出席の市長含め、私どもから適宜お答えをしたところであります。</p> <p>今後の予定としましては、この直入中学校を含め、城原小・白丹小につきましても同様に、それぞれの学校で統合検討委員会を立ち上げるため、第1回目の会議を今月中に開催するよう準備を進めているところでございます。</p>
志賀教育長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>はい、どうぞ。</p>
甲高委員	資料の中で来月の予定の中にも検討委員会というふうな名前が出てきていたんですが、その立ち上げるための会議を、それぞれの学校で開いていく、後でまた質問しようと思ってたんですけど、開いていくというような形になっていくのでしょうか。2月の予定の中に入っていましたけど。
志賀教育長	教育総務課長。
野仲教育総務課長	はい。委員のおっしゃる通りであります。1回目の会議ということで、それぞれの学校で統合検討委員会を立ち上げる、組織として立ち上げるという意味での会議になろうかと思えます。それぞれ週をずらして、各学校3校とも設置のための委員会を開く予定にしております。
志賀教育長	<p>他にありませんか。</p> <p>吉野委員。</p>
吉野委員	検討委員会を立ち上げる、設置するための、第1回の集まりの準備はどこまで進んでるんですか。その招集をかける段階ですか。
志賀教育長	教育総務課長。

野仲教育総務課長	<p>はい。こちらで構成委員を原案として検討しまして、それらの委員にそれぞれ開催の通知を、城原小学校、それから白丹小についてはもうすでに、委員宛に送付しております。直入中につきましても、近々発送予定にしております。そういった委員に集まっていたきまして当日、構成委員と委員会会則ですね、そういった部分の協議をいただいて、承認をいただくという予定にしております。先般のこの定例会でも申し上げました通り、さらにこれ以上の委員が必要であると、そういったご意見があればまたそこで、承認いただいて追加の委員を構成委員に含めるというような決議をしていただきますし、そういったことを考えております。</p>
志賀教育長	<p>よろしいでしょうか。他にありませんか。 それでは次に移ります。本日の審議案件は2件です。初めに議題第3号令和5年度竹田市教育費予算3月補正要求書についてです。各課から説明を行い、すべてが終了した後に、質疑を受けたいと思います。それでは、教育総務課長お願いします。</p>
野仲教育総務課長	<p>はい。要求書説明資料の2ページをご覧ください。教育総務課関係の予算要求内容を説明いたします。まず歳入の1,200千円減というのは、竹田小学校・岡本コースのスクールバス購入に際して行った入札において、当初見込みよりも低い額で取得できたことにより、財源の過疎対策事業債について減額するものであります。 次に歳出ですが、主な部分だけ申し上げます。まず、10款1項2目、教育委員会事務局費が1,266万円の減額。その内訳は、歳入のところで申し上げたスクールバス購入にかかる機械器具購入費1,494千円の減のほか、主なものでは業務委託料の5,698千円の減、これは現行の学校施設等長寿命化計画の見直しを行う予算を計上しておりましたが、実質的な予算編成や、市全体の公共施設整備計画への登載において、この長寿命化計画が反映されていない実状があることから、見直しをして計画改訂を行うことは実効性がないと判断し、執行せずに減額することとしました。それから、電算機器の賃貸借料の5,516千円の減、これは当初予算での見積り計上時点での見込み額が大き過ぎたという原因による減額となります。ネットワーク負担金で1,948千円、今回新たに増額計上としておりますが、これは、逆に当初予算での要求漏れ、計上漏れにより、今回補正要求をしております。次に、10款3項1目、中学校管理諸費の中の賃貸借料50万円の減は、竹田中学校のスクールバス転回場としてお借りしている学校隣接の民間の土地について、当初、賃貸料50万円で見込んでおりましたが、実際には無償での契約となりましたので、全額減額としております。その他の款項目においては、既定予算の執行残による不用額の減額、また年度末までに不足が見込まれる費目を補正要求しております。内容は内訳のとおりです。教育総務課関係は以上です。</p>
志賀教育長	<p>はい。渡邊学校教育課長。</p>
渡邊学校教育課長	<p>学校教育課です。差し替えのシートをご覧ください。歳入はありません。歳出です。10款1項2目、外国語指導助手招致事業費についてです。ALTが1名、令和5年12月をもって退職いたしましたので、減額となりました。次に人材育成海外交流事業の項目ですが、ドイツ・バードクロツィンゲンの受け入</p>

れができないとの連絡を受け、交流事業が中止になりましたので、減額となりました。次にあ祖母学者宿泊体験事業についても、今年はコロナ禍明けで、受け入れが難しいとのことで未実施となりましたので、この項目も歳出がありませんでした。最後に中学校教育振興諸費ですが、制服購入助成の項目について、当初予定していた以上に在校生の購入が多く、その分の助成が増額となりました。また、中学校の修学旅行を当初は九州管内で予定していましたが、今年度、コロナ禍以前のように関西への修学旅行に戻りましたので、その分の就学援助費を増額計上しています。

志賀教育長

佐藤生涯学習課長。

佐藤生涯学習課長

はい。生涯学習課です。4ページをご覧ください。歳入の方からいきます。16款2項7目、教育費県補助金、85万1000円の減です。これは、歳出の10款5項1目899、放課後子供教室推進事業費の減と、1534、学校との連携協働による地域教育力向上事業費の減に伴う、県補助金の減額要求になります。続いて17款1項1目財産貸付収入15万9000円の減です。これは宮城分館をダム事務所が借りていましたが、事務所自体がもうなくなりましたのでその分の減になります。

歳出に入ります。10款5項1目337、社会教育総務諸費、5万3000円の減。339青少年教育事業費、9万5000円の減。341、二十歳の集い実施事業費が5万9000円の減、343、高齢者大学実施事業費、4万円の減。先ほど申し上げましたが、899、放課後子ども教室推進事業費、126万円の減は、城原小学校で放課後子ども教室が開催できなかったため、その分の減が主なものとなります。1534、学校との連携協働による地域教育力向上事業費が13万円の減、報償費の減になります。10款5項2目346、人権教育促進事業費が10万円の減です。5ページの10款5項3目、350、公民館分館管理運営費が207万9000円の減です。これは当初分館長の勤務日数が共済保険に入る関係で、13日で計上していましたが、年度途中から12日で良くなりましたので、その分により、207万9000円の減ということになりました。続いて、主なものとして、354、公民館運営事業費、荻支所171万6000円の増です。これは建物の定期検査によりまして、荻公民館ペランダ軒先の補修が必要ということがわかりまして、3月補正で要求しているところです。続きまして、10款5項4目、363田能村竹田美術祭開催費は、事業費が確定しましたので19万9000円の減です。くじゅうサンホール自主事業費につきましては、79万円の減になります。10款6項2目、総合運動公園運営管理費につきましては、光熱水費、久住支所分につきましても、光熱水費が50万円ずつ減額要求しています。逆に荻支所分につきましては5万円の光熱水費増を要求しているところです。以上です。

志賀教育長

古田まちづくり文化財課長。

古田まちづくり文化財課長

はい。6ページお願いいたします。まちづくり文化財課は、基本的には今年度の執行状況に照らしまして、今後執行がないと認められるものについて、整理して減額したものでございます。歳入と歳出の最下段の少々金額の大きな岡城整備関係は、国費交付額の減額が決定したことによって、やむなく今年度の工事内容を縮小し、次年度以降にスライドして実施していくといったような形としているものです。まちづくり文化財課、以上です。

志賀教育長	佐藤歴史文化館長。
佐藤歴史文化館長	歴史文化館です。7ページをご覧ください。歳出について、175万6千円の減額でございます。10款5項8目、旧竹田荘管理費においては、1月から会計年度任用職員1名が代わったことに伴う増額と、木堀改修工事の残額や田能村竹田顕彰会の事業への補助の減額等を計上しております。10款5項12目、歴史文化館については、各事業について精査して、会議や出張等の減額、講演会関係の残額、特別展等の展示品の輸送業務委託料の残額等を不用額として減額計上しております。以上です。
志賀教育長	甲斐給食調理場長。
甲斐給食調理場長	学校給食調理場です。資料の8ページをご覧ください。歳入につきましては、16-2-3教育負担金のうち現年度分の給食負担金を340万円減額で歳入合計額7223万3千円とするものです。不登校やお弁当対応者など児童生徒や教職員の給食利用者数の見込みが過大となっていました。歳出につきましては、121万9千円を減額し、歳出合計額2億1930万円とするものです。内訳は、361事業の久住調理場は備品購入費11万3千円、913事業の竹田中央調理場は、光熱水費100万円、委託料10万6千円をそれぞれ執行残を減額するものです。調理場以上でございます。
志賀教育長	では図書館について教育総務課長。
野仲教育総務課長	要求書説明資料の9ページをご覧ください。いずれも予算執行後の不用額を減額しておりますが、唯一、一番上の印刷製本費132千円が増額となります。これは、図書館のパンフレット増刷にかかる要求であります。トータルでは、マイナスの787千円です。図書館関係は以上です。
志賀教育長	それでは説明が終わりましたので質疑を受けます。 まず、教育総務課について質疑等ありませんか。 では学校教育課について、質疑等はありませんか。 次に、生涯学習課について。 まちづくり文化財課について。 歴史文化館について。 給食調理場について。 図書館について。 ないようでしたら、議題第3号を承認してよろしいですか。
委員	(「はい。」の声)
志賀教育長	承認されました。次に議題第4号、竹田市教育委員会委員の辞職の同意についてですが、本議題は教育委員会の人事異動に関する事なので、非公開の審議としたいと思いますがそれでよろしいですか。
委員	(「はい。」の声)

志賀教育長

はい。それでは、竹田市教育委員会会議規則第 15 条第 1 項の規定により非公開とします。なお、進行の都合上、すべての協議が終了してから審議を行いますので、よろしくお願いします。

次に移ります。報告事項はありません。協議事項について、教育総務課長お願いします。

野仲教育総務課長

それでは協議事項です。(1) 令和 5 年度の小中学校の卒業式・幼稚園卒園式、及び令和 6 年度小中学校入学式・幼稚園入園式についてでございます。出席者については、次のページに案として載せております。まず①卒業式・卒園式ですが、中学校は 3 月 1 日、幼稚園が 3 月 19 日、小学校 3 月 22 日、それぞれ学校ごとに出席予定者を割り振りしております。ここで一部修正をお願いしたいと思いますが、小学校の表であります、下から 4 行目、白丹小学校に岡委員とありますけれども、事前に申し出をいただきましたので、佐藤歴史文化館長に変更をお願いいたします。

次に、②の入学式・入園式については、中学校が 4 月 9 日、小学校 4 月 10 日、幼稚園 4 月 11 日、これも同様に割り当てをしておりますのでよろしくお願いいたします。①②ともに割り当ての期日で、ご都合が悪い場合につきましては、教育総務課までご連絡をいただければと思います。協議事項については以上です。

志賀教育長

ただいまの説明に質疑等ありませんか。

協議事項についてはよろしいでしょうか。

次に、連絡事項について、教育総務課長、説明をお願いします。

野仲教育総務課長

連絡事項(1)、2月の幼稚園・小中学校の行事予定表につきまして、資料の 2 ページをご覧ください。2月1日、城原小・荻小・都野小の入学説明会、久住小の避難訓練、及び私立高校一般入試。2日、豊岡小・久住小・直入小の入学説明会、竹田幼稚園の節分集会、及び南部幼稚園の節分・豆まき。3日、大分っ子「未来創造プロジェクト」実践交流会、直入中2年生が発表いたします。5日、久住小の縄跳び大会。6日、竹田小・白丹小の入学説明会、豊岡小の縄跳び大会、この日から翌7日まで県立高校推薦入試。8日、南部小・祖峰小の入学説明会、及び荻小の縄跳び大会。9日、竹田中の入学説明会。13日、白丹小の縄跳び大会。16日、直入小の縄跳び記録会、竹田幼稚園の避難訓練、及び竹田南部中・直入中の入学説明会。17日、久住小の150周年記念事業。19日、菅生小の縄跳び記録会、及び緑ヶ丘中の入学説明会。22日、竹田小・豊岡小のお別れ遠足、白丹小のお別れバス遠足、及び南部幼稚園の地震避難訓練。27日、城原小の縄跳び大会。28日、竹田幼稚園のお別れ遠足。29日、祖峰小の縄跳び大会、城原小のお別れ遠足、及び都野小の縄跳び記録会。

続いて、次のページ、3ページをご覧ください。2月の教育委員会関係日程(予定)表でございます。本日2月5日、教育委員会第2回定例会。6日、第3回教務主任会議。8日、第13回校長・所長会議。15日、令和5年国体・第43回九州ブロック大会大分県実行委員会第2回総会、大分県人権尊重社会づくり推進功労賞授賞式、及び第3回岡の里名水マラソン大会実行委員会。19日、地域協働活動推進委員会会議、及び第3回学校運営協議会。20日、第2回竹田市立学校職員安全衛生推進委員会。22日、定例課長会議。27日、第14回校長・所長会

議。

1 ページに戻っていただきまして、(3) の今後の主な予定でございます。①教育委員会第 3 回定例会は、3 月 4 日 (月) 15 時から、本庁議室にて開催します。②第 1 回臨時会を 3 月 22 日 (金) 15 時から、教育長室にて非公開による開催です。③第 4 回定例会は、4 月 5 日 (金) 15 時から、本庁議室にて開催します。連絡事項につきましては以上でございます。

志賀教育長

質疑等ありませんか。

連絡事項についてはよろしいでしょうか。

それでは、各課から報告事項があればお願いしたいと思います。まず、教育総務課長。

野仲教育総務課長

申し訳ありません。2 月の教育委員会関係日程表 3 ページのところで漏れがありました。大変失礼しました。21 日の校長・所長会議まで申し上げましたが、同日、第 1 回直入中学校統合検討委員会が開催予定であります。3 月に入りまして 1 日が中学校卒業式、3 日が第 35 回岡の里名水マラソン大会、4 日が竹田市教育委員会第 3 回定例会という予定になっております。ここで、先ほどの直入地域の意見交換会の件をお知らせするつもりでございましたが、甲高委員の質疑にお答えしましたので省略いたします。

志賀教育長

渡邊学校教育課長。

渡邊学校教育課長

学校教育課からは竹田市標準学力調査の結果について報告します。12 月 12 日に小学 1～6 年生及び中学 1、2 年生でこの調査を実施しました。小学校 4 年生以上については、全国平均を上回った教科は、21 教科中 4 教科で、昨年度と同調査より 1 教科減少しています。成果が見られる教科についてですが、小学校国語では、小 4・小 5・小 6 とともに全国平均を超えています。算数では、小学校 4 年生で全国平均を超え、小学校 6 年生では全国平均とおなじ平均点となっています。4 月の全国および大分県の学力調査と比較し、小学校の算数は伸びてきていることが伺えます。

一方で、中学校は全ての教科で全国平均を下回っています。特に、英語は、依然として竹田市の大きな課題となっています。英語に関しては、8 月から毎月、先生方の授業づくりへの意欲とスキルアップをめざし、中学校英語授業力向上研修を開催しています。さらに、竹田市で統一の単元テストを作成し、生徒がいろんな問題に触れる経験の場を設定しています。先生方の授業づくりに対する意欲やスキルは、回を追うごとに徐々に上がってきていると感じますが、点数として成果はまだ感じられていないのが現状です。英語以外の教科においても、中学校の取組として、教科部会での取組をさらに充実させ、授業力向上と生徒の学力向上に努めてまいります。

また、各学校には、学力向上プランに基づく、学力定着および学力向上の取組を徹底するよう指導してまいりました。12 月の地域別意見交換会の折に、いくつかの学校の学力向上の取組を紹介しましたように、取組の成果が表れている学校もありますが、点数として表れる成果が、まだ見られない学校もあります。2 月には、各学校で第 2 回学力向上会議が開催されます。各学校のその後の取組の検証、12 月の竹田市標準学力調査の分析、そして課題にそった「学び残し 0 (ゼロ)」の取組について協議が行われます。教育委員の皆さまもぜひ、ご参加

いただき、各学校の学力の状況の確認と合わせ、学力定着および学力向上に向けてのご意見をいただきますようお願いいたします。学校教育課は3学期も、子どもたちの学びに向かう意欲の向上をねらいとして、竹田高校体験セミナーやたけたん自学舎を開催しております。竹田高校体験セミナーには、中学2年生が、たけたん自学舎では、中学1年生が英語の、小学生が算数の、復習を中心に講座を設けます。さらに、本日は、主幹教諭・指導教諭が、竹田市学校教育ビジョンに基づく「竹田市学力向上プラン」の検証と来年度に向けての取組内容について、会議をしております。

まずは、「学び残し0」に向けて、残り2か月、徹底した学習指導を継続するよう指導してまいります。教育委員の皆様もぜひご参加いただき、各学校の学力の状況の確認とあわせ、学力定着及び学力向上に向けてのご意見をいただきますようお願いいたします。学校教育課からは以上です。

志賀教育長

佐藤生涯学習課長。

佐藤生涯学習課長

はい。生涯学習課からは2点です。昨日、2月4日に第17回和気藹音コンサートを竹田市文化連盟主催で行ったところです。8団体に出場していただき、400名を超える入場者がありました。その中の一つ、竹田市中学校合同吹奏楽部と、竹田高校、三重総合高校で合同で演奏していただきました。

もう1点です。1月28日、日曜日に、大阪国際女子マラソンで19年ぶりに日本記録を塗り替えた天満屋女子陸上部の前田穂奈美選手なんですけれども、昨年8月に10日間、直入中央グラウンドやB&G体育館で合宿をしていただいていたので報告します。また今後、B&G財団への報告やスポーツ合宿での情報発信をしたいと思っています。以上です。

志賀教育長

古田まちづくり文化財課長。

古田まちづくり文化財課長

お疲れ様です。まちづくり文化財課です。今月は特段ございません。

志賀教育長

はい。佐藤歴史文化館長。

佐藤歴史文化館長

はい、歴史文化館からは展示について連絡させていただきます。3月3日まで、特別展示室ちくでん館において、全16巻、全長272mにおよぶ県指定有形文化財の「三宅山御鹿狩絵巻」を、展示替えを繰り返しながら紹介しています。描かれている人物のユーモラスなしぐさもご覧いただきながら、江戸時代の竹田に思いを馳せていただきたいと思います。

また、展示終了間近となりましたが、市民ギャラリーでは企画展「子ども学芸員展示 菅生の人々が大切にしている七ツ森古墳群」展を開催しています。竹田市教育委員会は、大分県教育委員会とともに、小学生が「学芸員」になって、身近な地域の歴史、文化について展示や発表を行う事業に取り組んでいます。今年度は、竹田市立菅生小学校5・6年生が「子ども学芸員」として「七ツ森古墳群」について調査し展示等に挑戦しました。七ツ森古墳群のジオラマも子どもたちが手作りしております。子どもたちの取組の成果を、展示を通してゆっくりとご覧いただければと思っております。よろしくようお願いいたします。

志賀教育長	甲斐給食調理場長。
甲斐給食調理場長	学校給食調理場からは1点ございます。次年度のパンの製造業者とパン給食日の変更について連絡いたします。パンの納入について、平成27年2学期から今年度まで大分県学校給食会から購入しています。大分県学校給食会が委託した白瀧屋が製造してきました。本年度3月末で白瀧屋が廃業するため、次年度からは製造業者が変更となります。大分県給食会では傘下の12業者へ受入を打診した結果、2業者の推薦がありました。この2社とも木曜日でなければ納品できないことからパン給食日を変更せざるを得ない状況となりました。大分県学校給食会の説明では、給食用パンの製造業者は、高齢化や人手不足、設備の老朽化などで減少傾向にあります。児童生徒への食べたい給食のリクエストは、揚げパンが1位です。パン給食を継続していけるよう取り組んで参ります。調理場から以上でございます。
志賀教育長	図書館について、教育総務課長。
野仲教育総務課長	図書館からは特にお知らせございませんが、再三申し訳ありません。先ほどの2月の教育委員会関係の日程に漏れがありました。今、給食調理場の関係の報告がありましたけれども、2月22日に学校給食運営審議会がございます。それから先ほど来お話がありました統合関係、2月14日に城原小の統合検討委員会、それから2月21日が白丹小の統合検討委員会を予定しております。併せて2月13日が声楽コンクールの第3回実行委員会、この部分もちょうと先ほど申しておりましたので追加で訂正させていただきます。申し訳ありません。
志賀教育長	それではただいまの説明に対してご意見、質問等はありませんか。 岡委員。
岡委員	はい。まず一つ標準学力調査のことなんですけど、見方をちょっと確認なんですけど、例えば中学校1年生・中学校2年生を見たときに、中学校1年生の昨年と今年の差というところにマイナスがずっとついてますけど、これは要するに今の中学校2年生のときの結果と比較しているのか、1年生の時の結果と比較してということになりますか。中1、昨年と今年の差っていうのが一番右にあると思うんですけど、昨年というのは今の中学2年生が1年生のときの実績ということによろしいんでしょうか。
渡邊学校教育課長	学校教育課長。はい。その通りです。ですから、昨年度までは小学校4年生からがこの調査を実施していましたので、4年生は3年生のときに受けてないので、昨年度の数との差がないということで、令和4年の標準というのは、例えば中学校1年生は小学校6年生のときの差と比べてということになります。
岡委員	はい。ありがとうございます。それから考えると、やはり学年が下がるに従って上の学年よりも少し学力が、落ちてるといふふうに見てよろしいのかどうかとか、問題の内容にもよるといふんですけど。ですから今後、年度を跨いだ分析といふか、そういうのもやはりあると、今の取組自体が、実際に下の子どもたちにどう影響しているのかということも見る必要があるなというふうな気がしました。

それともう 1 点先ほど給食の件なんですけども、白滝屋さんが廃業されたってことは、やはり物価高とかいうのがあるのと、給食費との採算が合わないとかそういうことがやっぱり原因になるのでしょうか。

志賀教育長

給食調理場長。

甲斐給食調理場長

はい。白滝屋さんの状況なんですけど、学校給食会から寄せられた情報によりますと、社長個人の体調、それからあと従業員さんがやはり高齢化していると。それと設備投資をどこかで考えていたんですけど、なかなかできてない状況で、どこかでしないといけないけど、なかなかその、採算とか考えると厳しいと。そういう 3 点がありまして、年度末のときには 1 度は、来年もやっていただけるというような回答があったみたいなんですけども、よくよく考えた結果、やはり難しいということで、給食会に連絡があったということで、正式な書類も給食会からいただいて、白滝屋さんとしてはもう今年度いっぱいというふうな話でございました。以上です。

志賀教育長

よろしいでしょうか。

岡委員

はい。ありがとうございます。今回小学校 6 年生の子がリクエストし給食を給食センターさん作っていただいたことですごく喜んでたのもあったんですけど、今後二つの推薦をいただいたということなんですけど、そういった業者さんの経営自体も安定していただくことが、やっぱりおいしい給食を提供し続けるために必要なんだろうなと思いつつながら、なかなか厳しい環境もあるのかなという印象を持ちました。以上です。

志賀教育長

他にありませんか。

では最後に教育委員からご意見、感想等があればいただきたいと思います。吉野委員からお願いします。

吉野委員

はい。1 月 31 日の直入地域の説明会ご苦労さまでした。お疲れ様でした。私もお話聞かせていただいたんですけど、なかなか反対の意見の方が耳に入る機会が多いんですけど、統合望む人の意見っていうのが今のところそのアンケートの紙面、自由記述の欄でというのが一番目につく形かと思うんですけど、私が個人的にちょっとお話を伺う機会もあったりしたので、これから検討委員会の立ち上げに向けて動き出すということを知って、ちょっと心配になっているところです。よりよい答えを出すためにはやっぱり、お互い意見を反映する人たちが、意見を交換する機会があるべきだと思うので、検討委員会を設立するための承認を得るっていう段階だと聞いたので、当初設定されているメンバーの方が、願わくはそういうお互いの何て言うんですか、賛成の方ばかりではない反対の方ばかりではないっていう構成になってもらえるといいなと思います。走り出して止まれないっていうことがないように、そして慎重に、あくまでも公平でそして子どものために何が一番必要なのかっていうこと、その道を確認するような検討委員会を持たれるように願うところです。直入の現状を目にしたところなかなか 1 年ずつ期限を延長して議論を続けていくっていうのは堂々めぐりになりそうな気配を感じているんですけども、その中でも子どもたちはやっぱり毎日学校に通うわけで、その 1 日 1 日の大切さ、1 時間 1 時間の大切

さというのを忘れてはいけないと思います。その中で今、今すぐ何かできることはないかということを考えたならば、1月31日の意見交換の場でも出た意見ですけど、やっぱりICT活用して、リモートなどをもっと盛んにという新しい、新しいっていうわけでもないかもしれないけど、今、力を入れてるところだと思うんですけど、促進させていくことであるとか、リモートだけでなく実際人が移動して、交流の事業ができる機会を増やしてもらえたらいいのかなというふうに思っています。またこれを、竹田中ばかりとするのもおかしいというか、誤解を招くのもいけないので、できれば緑ヶ丘中とか竹田南部中、また竹田市内に限らず、他市の学校とかとも交流ができたらいいいのかなと思います。そこに関連してなんですけど、日頃からも、私もこのことを考えていたのもっと今の、今学校に通ってる子どもたちに、同じ学校の子以外の生徒さんと交流する機会をやっぱり、もっと持って欲しいと思うんですけど、実際のところ、今リモートで、小学校1年生なんかとも交流してる場所を聞くんですけど、手応えがどんなものかっていうのが知りたいのと、もっと盛んにするために困難な点っていうのはどういうところなのかっていうのがちょっと私わからないので、これまでの実践例で、T授業っていう移動して交流する授業ですとか、リモートで交流する授業なんかは、どういう手順で、実践しておられたのか、またそういう積極的に取り組む先生ってどれぐらいいらっしゃるのかなとか、そういう方を増やすためにどういうことが必要なのかなとかも、今課長さんが考えてらっしゃることがあったら聞かせていただけたらなと思います。

志賀教育長

はい。それでは最後にまとめてお答えしたいと思います。
では次に、岡委員をお願いします。

岡委員

はい。先日、個人的に大分市でありました学びの多様化学校というものに関する講演を聞いてきたので、その感想をちょっと申し上げたいなと思います。演者の方っていうのは奥地圭子さんっていう、文科省の不登校対策の検討委員なんかもされてる方でいろいろ勉強になりまして、行ったきっかけというのが、昨年8月の合同新聞に、来年度玖珠町で小中一貫の学びの多様化学校が開校予定という記事が出てまして、非常に、ずっと関心を持っていたところだったもんで行って参りました。この学びの多様化学校いわゆる不登校特例校は、全国で24校でこの公立に至っては14校と少ないということだそうで、様々な課題があってハードルが高いということがあるんだと思うんですけど、文科省も来年度に向けて、かなり本腰を入れて力を入れていくようなことを言われてまして、国からの支援が今後大きく広がる可能性もあるかなという気がしました。竹田市としてはこれまで不登校に対して様々な取り組みをされてますけども、今後実際に取り組む如何にかかわらず、学びの多様化学校のような、コンセプトを持った受け皿の持つ可能性っていうのについて大いに注視していく必要があるのかなあというふうに思ってます。

なぜこういうこと言うかという先日総合教育会議で出ましたけども、竹田市に今支援が必要な児童生徒が70名を超えて、不登校や家庭に問題を抱えている児童生徒の割合が市内全児童生徒の5%を超えていると。で、これ自体は他の地域と比べて特段多いという数ではないようなんですけども、これは何とかして改善して、竹田で学べてよかったというか、竹田で学ばせてよかったと思えるような環境を整えてあげたいなというふうに思いました。「サフラン」の重要性っていうのは言うまでもないですけども、そういった、どうやったら学校で受

け入れていけるのかというアプローチとは別の、言うなればどこから、どこならっていうか、どんなところだったら社会的自立を支援できるかっていう視点での、対策も考えていく必要があるかなと。そうすると竹田市がさらに包摂的な取り組みっていうことが展開できていくような気がしています。

さらには、廃校利用について今話が進みますけど、こういった学びの場ってというのは廃校の跡地を活用するっていうことから考えても非常に利便性とか機能性の面でメリットがあるのではないかなというふうなことを考えさせられました。以上で感想です。

志賀教育長

では、甲高委員お願いします。

甲高委員

はい。私からは1、2点ちょっと感想等を述べたいと思います。先ほど学力調査のことで、そのときに話せばよかったんですが、やはり差があるということで、中学3年生でもしかしたら、必死になって、少しでも全国平均まで追い上げるような努力をされてるのかもしれないんですが、やはり心配だなというのが、もう本当感想です。

皆さん、学校の先生方も、必死に運営協議会とか参加したときも、皆さんそれぞれの学校でいろんな取り組みをされて、学力を上げようと学力がすべてではないんですが、上げようと努力されてる結果が見えてくるといいなと改めて思ってます。以上です。

志賀教育長

それでは今教育の皆さんから出された質問等について、答えがあればお願いします。

はい。学校教育課長。

渡邊学校教育課長

はい。では交流授業の現状と、推進するために必要なことについてお話しします。

交流授業は、リモートやZ o o mでやってる学校は、特に発表の場とか表現活動の場、調べたことを学んだことを、できるだけ多くの人に聞いてもらう、そして、それに対して質問をしてもらったり、意見をもらったりという、一つの課題に対して、意見を、交流しながら深めるというよりは、どちらかという、表現の場、伝える場という形で行われていることが多いです。

スクールバスで、相手の学校に移動してというときは、国語だったり算数だったり理科だったり、進度を合わせながら、ひとつの課題について意見を交流して深めるといったような授業を組んでいる学年もあります。

あと、リモートを使って、英語で海外の方と「自分たちが勉強したことを伝えるとか、自分たちの地域のことを英語で紹介するとか、相手の国や町のことを英語で伝えていただいたりという、授業も、今年度ありました。推進するためにはということですが、まず進度を合わせることに、交流授業する目的、ねらいをしっかりと確認して、そこに向けて、両方の職員が、確認していく必要があるかと思えます。

先ほどちらっと出ましたが推進する人とそうじゃない人ということで、やはりリードするその学年にリードされる方とか、隣の学校の先生が、会議にやってみようねってなれば、すぐにスクールバスで動いてということになります。その打ち合わせが、竹田教育研究会の学年部会と教科部会が年に、合わせて6回ぐらいあるんですが、その場で話されていることが多いので、もう少し来年度

は交流授業を進められるようにこちら側からも提案していこうと思います。以上です。

志賀教育長

リモートの実践例とか、手応えや課題等は、何かありますか。

渡邊学校教育課長

低学年の部会は、リードする方、利用する方がベテランの先生だけじゃなくて、若い先生方にも、順番でお願いしたりしている学年もあるので、先生方の勉強、人材育成に繋がっています。子どもたちは、2人3人の学年であればよりたくさん友達に自分の勉強したことを聞いてもらえるので、子どもたちのモチベーションにはすごく上がっていると感じます。課題としては先ほどおっしゃったように、なかなかそのやろうっていうときに、先生方によって多少差があるところが課題かなというふうに考えます。

志賀教育長

教育総務課長。

野仲教育総務課長

はい。吉野委員から検討委員会の立ち上げに向けてのご心配いただいております。ありがとうございます。残る3校についてはこれまでの久住中・都野中とまた進捗状況が全く違いますので、なかなか前例のような形での進め方は難しいかなというふうに感じております。必要であれば、今後も保護者あるいは地域の方々との意見交換会も並行して、やっていけたらいいかなというふうには感じております。

何よりも主体であるところのPTAの保護者の皆さん方の気持ちが一番であろうと思いますので、PTA主体で、保護者の皆さんの総意といいますか、そういった部分を、形作っていただければ一番ありがたいなと思いますし、それに私ども教育委員会も参画してですね、一緒に意見交換をしていけたらなというふうに考えております。それについて、さらに、地域の方々ご理解いただくとそういった流れができてくれば一番ありがたいなというふうに感じているところであります。

志賀教育長

はい。久住小は海外とも繋がったんですよ。リモートのいいところは学校間だけでなく、海外とも繋がって、何か交流することができるのは、もう画期的な出来事ですよ。そういう実践例もあるということですが、やはり特別な先生だけやっているというのが課題といえば課題だと思います。そういった実践例を交流しながら、さらに進めていかねばというところです。あとは、学校教育課長から。

渡邊学校教育課長

はい。岡委員さんの社会的自立をどう支援できるか、またどこで支援できるかっていうところですが、今年度サフランの方に、公用車ができましたので、来年度はアウトリーチがより行いやすくなると思います。今までも支援員が出かけていって、家にいる児童生徒と話をしたり、児童生徒の家と一緒に学習指導したりというのはできたのですが、公用車に子どもたちを乗せて、例えばサフランにお連れしたりサフランが嫌であれば、地域の支援施設のようなところというふうに送迎ができるようになりました。アウトリーチの部分をもうちょっと活用して、学校だけでなく、子どもたちが、勉強したり、活動したりできる場を今後探していきたいと考えています。

志賀教育長

玖珠町は、不登校児童生徒が11%を超えたということを非常事態ととらえて、何とかしないといけないということで特例校を立ち上げようとしているようです。相当な苦勞があるという話を先週聞きました。いつか直接、玖珠の梶原教育長に聞きに行ってみたい、というふうに思っています。

それから甲高委員の、学力が中学3年で追いついているか、というご意見ですが、かつて高校入試、県立高校の入試を、市ごとに平均点を出していたこともあります。その時はやはり、竹田市・直入郡ともに大分市より低かったです。具体的に何点かということではできませんが、ただ、大分市等は県立高校を受けない生徒がとても多い。私立一本で専願をしている子どもが多いので、単純に比較することはできないということで、多少点が悪くても安心していただいている部分があります。

今、例えば中3の4月の学力調査で、10点20点負けていたら、入試時期には、最大50点ぐらい差がつくのではないかとされています。ですから差がどんどん広がるということのないように努力しなければなりません。原因としてはいろいろあると思いますが、一つは競争があまりないということ。少人数で、高校も比較的通りやすいという中で、今大事にしているのはキャリア教育です。高校に入ることが目的ではなくて、例えば5教科で3桁取れなかったら、なかなか高校やさらにその上で資格も取れないということを認識して、通るだけが目標ではないということ、その先があるということ、そういった意味でのキャリア教育が特に必要です。それから、もう一つの低迷の原因は塾です。大分市の中学生は、塾に90数パーセントが行っている。そのほとんどが教科としては英語であるということ。竹田南部中学校に自分が勤めていたときに、塾に行っているのが60%でした。この間、緑中の校長と話したときは、ほぼ行ってないということでした。ただ、塾に行っていないから負けているというのは言い訳になるので言いたくないことです。学校教育課長も言いましたように、教員の研修等を重ねているところです。何とか対策を打ちながら、頑張らなければならぬ、と思っています。

他にないでしょうか。

ないようでしたら議題第4号、竹田市教育委員会委員の辞職の同意について審議を非公開で行います。

関係者以外の退室をお願いいたします。

(非公開による議題第4号の審議)

(閉会)

[閉会時刻:午後4時05分]